

2022年6月17日(金) 晴れ、暑い。朝早く土気のホテルを出発、昭和50年開園した広さ100畝の昭和の森を早朝散歩する。

森を抜けるとあとは首都圏中央連絡自動車道(高速)に沿った里山道を、のんびり歩く。距離は10kmと短いので午前中にゴールして、引き続き次の⑩里山のみちのコースを歩く事にした。



⑨コース案内板は土気駅構内にある(首都圏自然歩道連絡協議会)



コース概念図(10km) ゴールは新治小学校前の交差点



7時過ぎに出発、朝食はサービスであるが簡単な献立であった



県道を歩いて20分、昭和の森アプローチに着く、ここに道標があった



和の森は1975年開園した森で南北2.3km、東西0.8kmに及ぶ広大な敷地を有し、日本の都市公園100選に選ばれている



広さ 100 畝に及ぶ総合公園となっていて、敷地内にはスポーツ施設や、宿泊施設もある



メインの遊歩道を歩いて行こう、時間は午前 8 時 10 分



広い芝生の広場もあれば、お花見広場も、もみじ広場もある



山武杉の自然林もある疎林広場を歩く



標高 95mの展望広場に来れば、遙か九十九里浜が見える



展望広場の取り付には、小中池への道標もある



取りつけ道が分かりにくい、踏み跡を丹念にたどれば歩ける



標高差 70m程の急な切通を下る



小中池は灌漑用水池で平成3年生活、文化、福祉施設が充実したアーバンオアシスを目指して作られたと、案内板に記述されている



昭和の森公園、九十九里自然公園と直結した景観を楽しむことが出来る



小中池を下って里道に出る



矢口大明神を見たら、いつも見慣れた里山道を歩いて行く



田圃も青々となってきた



里山道にこんな広い道は必要ないね、ほとんど車が通らなかった



田圃の畦道に立つ道標に従って、熊野神社にお参りしてこよう



熊野神社は田圃の中にある台地の鼻先にあった



砂田（いさごだ）集落の産土であろう、鳥居の根元が腐りかけている



砂田集落を通過するには、三方が丘陵となっているから、トンネルを通過して隣村に入る





なかなか素敵な集落をつなぐ道だった



村を出た所に石の里程標があった、夏になればこの石標は、草に埋もれて見えなくなりそう



ゴールの新治小学校に出るまでは、素敵なトレイルの連続であった



ひよっこり県道に出ると、この交差点が⑨のコースのゴールである



「新治小学校」今日は、2022年6月17日（金）であるが、国旗が掲げられていた旗の下の二宮金次郎像が何とも懐かしい情景であった

[参考タイム] 土気駅（7：20）→昭和の森展望台（8：23-8：30）→小中池（8：40-8：50）  
矢口神社（9：00-9：05）→熊野神社（9：45-9：50）→新治小学校ゴール（10：45）

この項完

「関東ふれあいの道（千葉）⑩山里のみち」に続く